

# 環境の整備+補助具の開発

## 〔作業ルームの設置〕 ①作業に集中するための環境整備

### 授業改善の視点

【はさん】



◆ 頑張ろうとすると力が入ってしまうので、狭いテーブルだと気を付けていても商品を落としてしまいます。また、隣の友達が近いうちから、気持ちが焦ってしまいます。



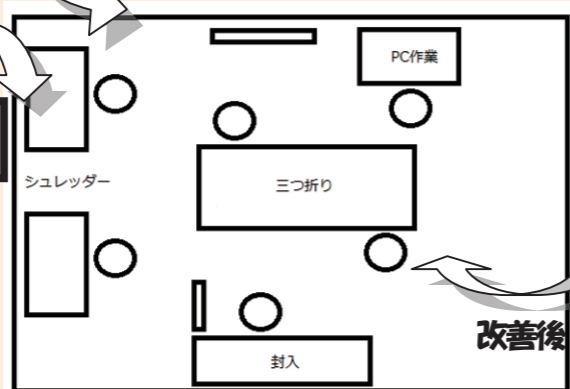
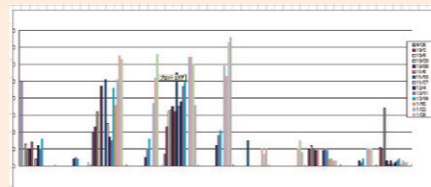
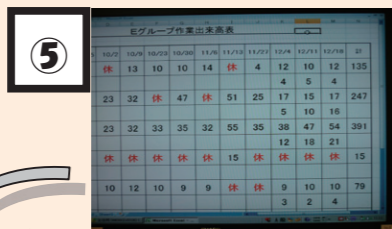
◆ 周りのことばかり気にしていて、集中して作業に取り組めなていないみたい。大切な商品も落としてしまうことも多いんです。一人一人の目標や仕事に対する意識を高めたいです。



【担任のJ先生】

### 作業環境の整備と工夫

- ① 集中して作業が行えるような教室配置にしました。
- ② カゴ等を活用し工程を視覚化しました。
- ③ 補助具を開発し、一人で安全に作業ができるようにしました。
- ④ 作業中の姿勢(肘)を安定させるようにしました。
- ⑤ 大型モニターに目標を提示するようにしました。



## ②生徒が主体的に取り組むための補助具の開発

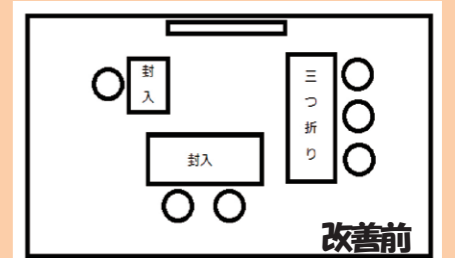
### 専門家からのアドバイス

★ 机の上など、作業するスペースが作業工程に適しているのかを見直し、物品を置くスペースや作業するスペースを確保しましょう。一定程度の広さが必要なので例えば、「作業ルーム」を設定するとともに、作業スペース(机の上や動くスペース)を整理し、工程を分かりやすくするなど、「作業環境」を工夫してはどうでしょうか。



【専門家】

★ 生徒が目標をすぐに分かるように、作業目標を大型モニターで提示するようにしてみたらどうですか。



作業スペースが狭く、作業しづらい環境

### 生徒が「一人でできる」ようになった姿

- ◆ 作業スペースを広げ、整理することで、商品である材料を落としてしまうことが減りました。また、自分で動けるスペースを取るようになることで、教員の指示が減り、生徒が主体的に行うようになりました。
- ◆ 目標を数値で入力し、グラフ化することで、「今日はここまで頑張る」という言葉が生徒から出るようになりました。
- ◆ また、ユニホームを着用するようになったことで、作業への意識が高まりました。



左から順番に材料を置いて完成品は右側に



マイエフロン⇒ユニホーム



# 環境の整備+工程の工夫

## 〔教育機器室レイアウトの変更〕

### ①一人で動けるようになる環境の整備

### ②作業工程に合わせた動線の確保

#### 授業改善の視点

【Kさん】



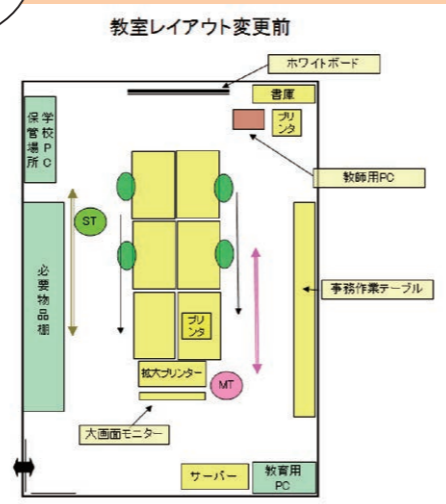
◆ パソコンで指示書に沿って文書を作っていますが、プリントアウトしても、自分で動けるスペースがないので、手を挙げて先生を呼ぶしかありません。



◆ Kさんは、入力作業が早いので、どうしても他の生徒を待っている時間が多くなってしまいます。もっと主体的に作業に取り組めるようにするにはどのようにしたらよいでしょうか。



【担任のH先生】



#### 専門家からのアドバイス

★ 作業学習を円滑に進めていくには、一人一人の作業を行う上での動線を整えていくことが大切です。作業工程をしっかりと分析し、それに合わせて教室環境を構造化していくことで、より自主的に作業に取り組むことができると思いますよ。



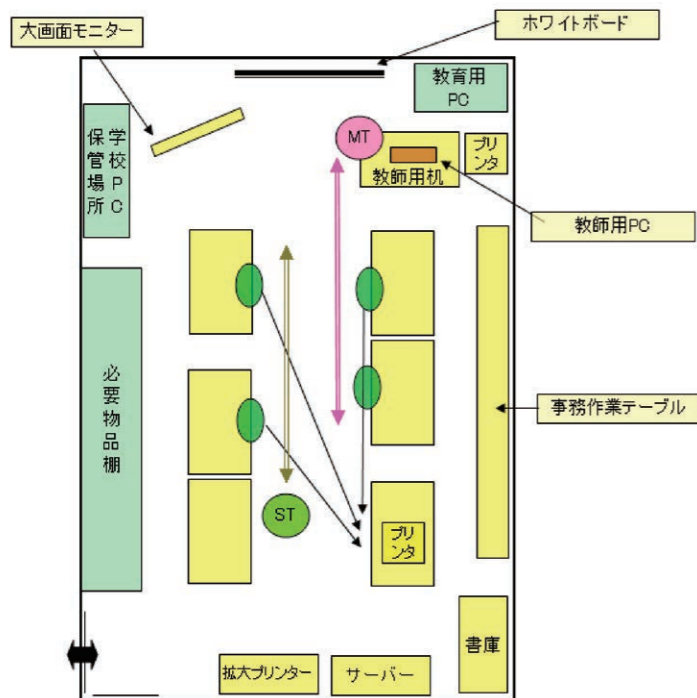
【専門家】

#### 「一人でできる」ようにするための更なる工夫

- ★ 作業机の上に、パソコンの機器がたくさん並んでいますので、整理することで指導用のモニターが見えやすくなると思います。
- ★ 授業の主任の位置を見直し、生徒が自発的に報告・相談できるようにしましょう。
- ★ パソコン作業の際は特に採光や机の高さが適切であるか検証しましょう。

#### 教室環境の工夫

##### 教室レイアウト変更後



一斉指導の場面では画面を遮るものがなくなり、注目しやすくなりました。



生徒が一人で動けるスペースが確保されたので、自分で印刷したものを取りに行きます。

#### 生徒が「一人でできる」ようになった姿

- ★ 自分でプリントアウトしたものを取りに行けるようになり、仕事の流れが分かりました。
- ★ 先生が前にいるので、分からないときや、作業が終わった時には自分から報告に行けるようになりました。

車いすの操作もしやすくなりました



生徒自ら教員へ質問、報告に行きます



★ 生徒の動線を考え、学習環境を整えたことで、作業学習に積極的に取り組めるようになりました。そのことで、自信をつけ、他の仕事にもチャレンジするようになりました。